

3歳児 森の組・川の組

(20名) (20名)

保育研究シート

2026年2月6日(金)

(担任) 灰谷知子・田村郁・黒瀬愛佳・鈴木佳津世

1. 子どもたちの姿

友達や教師との朝の出会いが嬉しくて会話がはずんだり、身支度を自分なりに取り組んだりする姿から、幼稚園が安心できる場所になってきたことが伝わってくる。不安な時も、教師に抱っこされながら、周りの様子を感じて過ごすうちに、自分のペースをつかんで遊び出すようになってきた。

保育室でのコマ遊びや描画や製作、戸外で走り回ることや滑り台を何度も滑る遊びなど、楽しそうな雰囲気を感ずると友達と一緒に動き出すようになり、関わって遊ぶことが嬉しい様子が伝わってくる。一方、友達との関わりが広がる中でやりたいことが違う時や同じ物を使いたい時などに、いろいろな人が怒ったり泣いたりして思いを表すことも増えている。教師や友達が寄り添ってくれていることを感じ、自分の思いをわかってもらえたこと、相手にも思いがあることを感じていけるように援助している。葛藤することもあるけれど、のびのびからだを動かすと心もほぐれ、また新たな気持ちで次の遊びに向かってこうとする姿を支えたい。

魅力的な遊びを見せてくれたり、誘ってくれたりする4・5歳児との関わりからは刺激をたくさん受けている。一緒にやらせてもらったり、遊びに取り入れられたりして、自分たちの遊びがより一層楽しくなっていくことも大事にしたい。

2. 子どもたちへの願い (かかわりの視点から)

*自分とのかかわり ~戸外でのびのびとからだを動かして遊ぶ~

からだを動かす気持ちよさ、心もほぐれていくような感覚を味わってほしい。また、誰でも入れる雰囲気の中、いろいろな友達と出会い、一緒に遊ぶ楽しさを味わってほしい。

*人とかかわり ~自分の思いを表しながら、いろいろな友達との関わりを楽しむ~

友達と一緒に遊びたい気持ちが伝わってくる一方で、違いに戸惑う姿も見られる。自分の思いを受けとめられている安心を得る中で、相手にも思いがあることを感じ、友達と遊ぶ楽しさをたっぷり味わってほしい。

*もの・こととかかわり ~イメージしたものをつくったり、興味を持ったことに関わったりして遊ぶ~

友達や教師がしていることやつくったものに気づき、一緒にやってみようとするが増えてきた。身の回りのもの、こととの関わりを広げる中で、自分の楽しさが広がっていく感覚をたくさん味わってほしい。

3. 本日の流れ

時間	幼児の活動	留意点・手だて
9:00 ~9:10	登園 挨拶・手洗い 好きな遊び ままごと・井形ブロック・ 木製電車・積み木・描画・ 製作・ごっこあそび・コマ 砂場・固定遊具・おいかけ っこ・かくれんぼ 4・5歳児との関わり等	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの様子を受けとめながら挨拶を交わし、身支度などを自分のペースで進めようとする姿を認め、励ます。 自分のやりたいことを見つけて遊び出す個々の様子を見守り、不安がある時は一緒に見たり動いたりして動き出せるよう支える。 場やものを作るなどして自分の思いを表しながら遊び、遊びの中で出会った友達との関わりを楽しめるようにする。 一緒に遊ぶ友達と思いがずれて戸惑う時は、ありのままの思いを表す姿を受けとめつつ、相手の表情や思いも感じられるようにする。 ものや場を適宜整理し、道具の扱い方等は都度丁寧に伝える。 見つけたことや楽しんでいることを教師も一緒に味わい、興味をもった周りの子どもたちも入りやすい雰囲気づくりを心がける。 4・5歳児との自然な関わりを大事にし、3歳児なりの楽しみ方や取り入れ方ができるよう、教師で連携して支える。
10:25	片付け トイレ 身支度 ※靴持ち帰り 集まり 手遊び・絵本など	<ul style="list-style-type: none"> 片付けでは物を元の場所に収めて場が整っていく心地よさを感じながら、徐々に降園に気持ちが向かっていくようにする。 自分なりに身支度をしようとする姿を支えつつ、週末の疲れが見られる場合は手伝い、気持ちよく整えられるようにする。 集まりでは、歌を歌う、絵本を見るなどして、皆で一緒に過ごす楽しさを感じられるよう工夫する。
11:00	降園	<ul style="list-style-type: none"> 翌週を楽しみに、丁寧に挨拶を交わす。

<最近の遊びマップ>

三和土

机を囲んで、お鍋やお皿を使ったおまじごとがお気に入り。お店やさんが始まると、「いらっやいませ！」と保育室の人を誘いに來ること多。

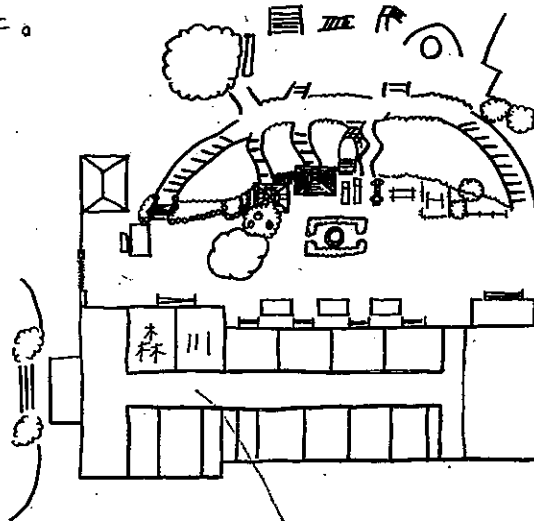
砂場

3学期から出した長いシャベルで穴や山をつくることを楽しんでいる。

お山・お庭

教師とだけでなく、友達と誘いあって出かけることも増えてきた。思いきり走ったり、築山を滑ったり、かくれんぼをしたりと身体をのびのび動かしている。最近では、氷や霜柱を探ることを楽しんでいる。「〇〇あったよ」という声を聞いて、異年齢で混ぜり合って遊ぶことも多い。

→ 楽しそうな友達の様子を見て、興味を持った人が加わり、両クラスが混ざって遊ぶことも増えてきた。



保育室

お面やシボンの布を身につけて、何かになりきり、ごっこ遊びやショーをしたり、じっくり製作やブロック・線路遊びをしたりと好きな遊びを遊びながら楽しんでいる。つくったものを持って戸外に出かける姿もある。使いたいものが足りない時や気になる遊びをしている時に両クラスの行き来も増えてきた。困ったことがあると戻ってくる大切な拠点。

5歳4歳保育室・遊戯室

お店やさんや劇遊びに誘われて出かけることを楽しんでいる。帰ってきた人が「楽しかったよ」と話ののを聞いて、子ども同士で伝わり合うことも多い。また、お兄さんお姉さんがつくる魅力的なものに惹かれて自分でもつくりたいという思いが膨らんでいる。

廊下

自分たちで場所を決め、保育室から好きなものを運び、お家をつくることを楽しんでいる。また、いろいろな人が通る廊下はお店やさんにぴったり。4・5歳児に刺激を受けて、お店やさんが始まることも。窓越しに保育室の様子を感じながら自分たちの場をつくるのが嬉しそう。